

## ● THUNDERBIRD® SYBR® qPCR Mixの使用条件 [ABI 7300]

### (1) 反応液の調製

以下に、50 μLおよび20 μL反応時の調製例を示します。

試薬	50μL反応	20μL反応	最終濃度
滅菌水	X μL	X μL	
THUNDERBIRD®SYBR® qPCR Mix	25 μL	10 μL	1x
Forward Primer	15 pmol	6 pmol	0.3 μM <sup>*1</sup>
Reverse Primer	15 pmol	6 pmol	0.3 μM <sup>*1</sup>
50X ROX reference dye	1 μL	0.4 μL	1x
DNA溶液	Y μL	Y μL	
合計液量	50 μL	20 μL	

\*1: 増幅効率が不十分な場合は、プライマー濃度を増やすことで、また非特異反応が発生する場合は、プライマー濃度を減らすことで、反応結果が改善することがあります。  
プライマー濃度は、最終濃度0.2~0.6 μMを目安にご検討ください。

### (2) PCRサイクル条件設定

ステップ	温度	時間	昇降速度	
初期変性	95° C	60秒	最大	
PCR (40 cycles)	変性 伸長	95° C 60° C <sup>*2</sup>	15秒 60秒	最大 最大
(Data Collectionは伸長ステップに設定します)				
融解曲線分析 (Melting / Dissociation Curve Analysis)				

\*2:十分な增幅効率が得られない場合は温度を低めに、非特異的反応が発生する場合は温度を高めに設定することで、反応が改善されることがあります。56~64°Cの範囲を目安にご検討ください。